



北方領土返還要求運動
シンボルの花「千島桜」

3 標津町立標津中学校 (標津町)

○開催日時 平成25年10月1日(火)

9:40~10:30

○対象者 中学2年生(45名)



語り部講師：福澤 英雄 氏 (多楽島出身)

☀ 講話のあらまし ☀

- ・歯舞群島・多楽島の豊かな自然環境の中、貧しくも一生懸命生活を送った人々の様子、戦後突然のソ連軍の襲来により、先祖伝来の土地を奪われた元島民の悲しみ、島を脱出した時の過酷な状況などを北方領土の歴史を織り交ぜて、北方領土に対する理解や認識を深めてもらう講話を行った。

また、北方領土返還要求運動への若い人の力を結集する必要があること、ロシア人と仲良くしていくことの大切さなどを訴えた。

★デジタル紙芝居「故郷の島たらく(四季と生活(くらし))」の放映

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/hrn/dejitarukamishibai.htm>

■ 児童・生徒からの感想 ■

- ・北方領土は、早く返還することを願います。
- ・旧ソ連が全部悪いわけではないと思う。
- ・戦争のすぐ後に北方領土が奪われたことがわかった。

【先生から・・・】

- ・生徒達は、北方領土の語り部の福澤さんの島で暮らしていた頃の話、家や家族の写真などを見て、引き揚げ時の話を聞いている時、特に強く関心を持っているように感じました。

そこに日本人の暮らしがあったこと、故郷へ行くことができない悔しさ・・・

そこに共感することができたからだと思います。

教科書では伝えることのできない「暮らしていたからこそその思い」を感じることができていました。とても貴重な経験でした。ありがとうございました。